
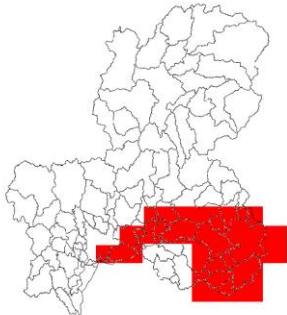


オカオグルマ	<i>Tephroseris integrifolia</i> (L.) Holub subsp. <i>kirilowii</i> (Turcz. ex DC.) B.Nord.	絶滅危惧Ⅱ類
		キク科
選定理由	生育地と個体数がともに急速に減少している。	<p>写真(清水英彦)</p> 
形態の特徴	茎は高さ30-60cm。根出葉は開花時にもあり、長楕円形、長さ5-10cm、幅1.5-2.5cm。茎葉は披針形から線形、基部から上方へと小さくなり、基部では長さ8-10cm、幅1-1.5cm。頭花は茎と上部で出る枝の先につき、直径3-4cm、舌状花と筒状花からなる。小花は黄色。総苞は長さ約8mm、幅約10mm。	
生態的特徴	日当たりのよい草地に生育する。花期は5-6月。	
分布状況	朝鮮と中国にも分布し、日本では北海道から九州にかけて見られる。岐阜県では県南の南部にある。	
減少要因	開発による生育地の破壊と、採取。	
保全対策	生育地の保全と、採取の禁止。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘